

記憶が紡ぐ

70年のあゆみ



昭和30年	4月	広陵町発足（馬見町・瀬南村・百済村が合併）
	6月	初代町長に池端若松氏が就任
昭和31年	9月	箸尾町が広陵町へ編入
昭和32年	7月	池尻・藤森が分町、大和高田市へ編入合併
昭和33年	1月	町章制定
昭和36年	9月	第二室戸台風上陸、町内に大きな被害
昭和37年	9月	小学校で学校給食開始
昭和40年	5月	「広陵町史」刊行
昭和44年	4月	馬見・百済・瀬南・箸尾の四農協が合併 広陵町農業協同組合発足
昭和45年	6月	第二代町長に岡本盛蔵氏が就任
昭和46年	9月	新庁舎竣工（現庁舎）
昭和47年	10月	広陵町商工会発足
昭和48年	3月	野村豊和氏オリンピックkommunヘン大会柔道で金メダル
昭和49年	5月	広陵町立中央公民館竣工
昭和51年	10月	真美ヶ丘ニュータウン起工式
昭和52年	12月	町民憲章、町の花、町歌、町首領制定
昭和53年	6月	第三代町長に林田孝一氏が就任
昭和55年	10月	清掃センター竣工
昭和57年	5月	老人福祉センター、中央体育館竣工
昭和58年	6月	第四代町長に服部融氏が就任
昭和59年	4月	真美ヶ丘ニュータウン入居開始
	7月	鈴木一二美氏パラリンピックロンドン大会アーチェリーで銀メダル
	10月	「わかさ国体」ソフトボールとフェンシング競技実施
昭和60年	4月	池端若松氏、野村豊和氏が名誉町民に
昭和62年	4月	第二次広陵町総合計画策定
	11月	野村佐市氏が名誉町民に
平成元年	10月	広陵消防署事業開始
平成2年	4月	ふるさと会館グリーンパレスオープン
平成3年	5月	シルバー人材センター開始
平成5年	8月	第五代町長に林田孝一氏が就任
平成6年	5月	竹取公園開園
	6月	広陵金明太鼓発足
	10月	かくや姫ホール竣工
平成7年	10月	与楽寺十一面観音立像発見
	10月	第一回かくや姫サミット開催



昭和59年

わかさ国体の炬火リレー



昭和46年

広陵町役場の新庁舎

広陵町の物語

昭和30年4月、馬見町・瀬南村・百済村の合併によって、広陵町が誕生しました。培われた各地域の文化に、ひとつになった地域として新たに築き上げた文化が加わり、歴史は日々更新されています。広陵町の歩みを振り返ってみましょう。

出典：'85 町勢要覧 ようこそ広陵町へ

①馬見尋常高等学校新校舎の地鎮祭 ②農免道路に信号機設置 ③馬見尋常高等学校の新校舎落成記念 ④繊維産業が順調に発展 ⑤整地された真美ヶ丘 ⑥交通量の多い交差点 ⑦清掃センター

